

2025年5月1日
楽待株式会社

楽待株式会社は経済産業省が定める 「DX認定事業者」に認定されました

コーポレートサイトに「DXの取り組み」を公開

本リリースのポイント

- ・経済産業省が定める「DX認定制度」に基づき、「DX認定事業者」として認定
- ・AI活用を強化し、顧客満足度と業務効率化のさらなる向上を目指す
- ・直近ではChatGPTの有料版を全社員に付与し、社員の生成AI活用率は100%



国内最大の不動産投資プラットフォーム「楽待」 (<https://www.rakumachi.jp/>) を運営する楽待株式会社（本社：東京都中央区、東証スタンダード、証券コード：6037）は、経済産業省が定める「DX認定制度」に基づき、2025年5月1日にDX認定事業者としての認定を取得しました。

楽待株式会社のDXの取り組み

当社は「社会の発展に貢献する」という経営理念と、「公正な不動産投資市場を創造する」というビジョンのもと、国内最大の不動産投資プラットフォーム「楽待」を展開しています。2006年のサービス開始以来、収支シミュレーション機能や、購入判断に必要な情報を一括で確認できる「賃貸経営マップ」、生成AIを活用した営業支援ツールなど、不動産投資家と不動産会社の双方にとって利便性の高いサービスを提供してきました。

直近では、ChatGPTの有料版を全社員に付与し、会社全体でDXを推進しています。当社のDXの取り組みの詳細はコーポレートサイトからご確認ください。

<https://rakumachi.co.jp/dx/>

DX認定制度とは

「DX認定制度」は、「情報処理の促進に関する法律」に基づき、デジタル技術による社会変革に対して経営者に求められる事項を取りまとめた「デジタルガバナンス・コード」に対応し、DX推進の準備が整っていると認められた企業を国が認定する制度です。

不動産投資の「楽待」概要

2006年3月に開設した「楽待」は、月間168万人が訪れる、使いやすさ・利用者数・掲載物件数No.1(*1)の不動産投資プラットフォームです。全国4900社の不動産会社が毎日物件情報を登録しており、ユーザーは自身の希望条件で絞り込んで、目当ての物件を探すことができます。

また、不動産投資専門メディア「楽待新聞」を通じ、業界のニュースや不動産投資の成功談・失敗談などを発信。YouTube「楽待 RAKUMACHI」はチャンネル登録者数115万人、総再生回数は5億2000万回にのぼります。（2025年5月時点）

不動産業界のDX（デジタルトランスフォーメーション）を促進するため、2020年6月には、不動産会社とオンライン通話ができる「ビデオ通話」機能もリリースしました。更に2022年6月には有料会員サービス「楽待プレミアム」を開始。登録することで、業界初(*2)の独自機能「賃貸経営マップ」やプレミアム会員限定動画が見放題になります。

「公正な不動産投資市場を創造する」というビジョンのもと、不動産投資家・加盟不動産会社の双方にとって使いやすい機能やサービスの提供に努めてまいります。

【会社概要】

社名：楽待株式会社

URL：<https://rakumachi.co.jp/>

上場市場：東証スタンダード（証券コード：6037）

本社：東京都中央区八丁堀三丁目3番5号 住友不動産八丁堀ビル5階

設立：2005年8月23日

事業内容：国内最大の不動産投資プラットフォーム「楽待」の運営

楽待

【本件の問い合わせ】

楽待株式会社 広報担当 尾藤

携帯電話：080-4129-5743

固定電話：03-6833-9438

E-mail：rakumachi@rakumachi.co.jp

*1 『物件数 No.1』：日本マーケティングリサーチ機構調べ（2022年12月）

『使いやすさ No.1』：ゴメス・コンサルティング調べ（2022年12月）

『利用者数 No.1』：自社調べ（2022年12月）

*2 自社調べ（2023年4月）

